

福田寺だより

発行

神奈川県小田原市飯田岡二五七

飯田山 恒恒 田 土寸

住職 橋本尚信

福田寺本尊薬師如来

— どのような仏様 —

福田寺の本尊様は薬師如来です。薬師如来（お薬師様）という仏様はどの様な仏様でしょう。薬師というように薬という字が名前に付いている訳ですから私たちに薬を与えてくださるであろう事は想像できますがそのことは何を意味しているのでしょうか。人間にとって死は誰もが逃れられない事ですが、死後の世界は阿弥陀様が守って下さいます。生きて

いる人間にとって、死を招く病は一番の苦しみであります。その病を癒してくれるのがお薬師様です。つまり生きていく人間にとって最大の苦しみを取り除いてくれる仏様です。それだけでなくお薬師さまは私たちに利益をもたらしてくれているのです。例えば商売繁盛や試験合格、今流行の婚活・就活の成就、昇進・昇級等私たちの欲求を叶えてくれるのです。

つまり現世利益の仏様なのです。現世利益という何か森嚴な宗教心からかけ離れ、俗物的な自分勝手な御利益信仰と受け取られがちですが果たしてそうでしょうか。決してそうではありません。私たちが日本人は本来とても功利的で実用的な考えを持っています。しかし近年の考え方の中にその様なものを蔑視し、精神面を重んじる考えを是とする思想が謳歌してきました。仏様もその様な精神的よりどころとして崇拜されるべきものであり、ただ御利益を求めるとは真の信仰からかけ離れているというのです。では、奈良の薬師寺信仰はどう捉えたら良いのでしょうか。天台宗の根本道場比叡山の御本尊、真言宗の総本山東寺の御本尊がともに薬師如来様である事実をどう考えたら良いのでしょうか。他にも全国にお薬師様を祀るご寺院は数知れません。国宝・重文の数は如来様では阿弥陀

様に次いでいます。つまり日本人にとって奈良時代、平安時代は薬師様は非常に強く信仰されていました。

現世利益は信仰心と何ら矛盾するものではなく、悟りを求める仏教の方便として大いに活躍していたのです。

特に真言宗の教えである密教は現実肯定、人間賛歌の宗教です。煩惱即菩提、清濁併せ持つ人間のための教えです。その為に現世利益のための御祈祷がなされ、現実生活の中に悟り・菩提を求めるものです。

お薬師様の御開帳は寅年にされるのが通例です。明くる平成二十二年は寅年ですので各地でお薬師様の御開帳法要がなされると思います。お薬師様の現世利益を信じ良い年を願って参詣されるのも良いのではないでしようか。福田寺のお薬師様も、現世利益の靈験あらたかです。古来強い信仰を受けてきています。

☆ ○ ◎ ★ ● ☆ ○ ◎ ☆ ● ☆ ○ ◎ ☆ ● ☆ ○ ◎ ☆ ● ☆ ○ ◎

○ 納骨堂建設 進めています ○

◎ ★ ● ☆ ○ ◎ ☆ ● ☆ ○ ◎ ☆ ● ☆ ○ ◎ ☆ ● ☆ ○ ◎

計画が大幅に遅れている納骨堂の建設について説明致します。現在複雑になっていた寺の土地をすっきりさせるため、行政側と協議を進め、測量図面が整ったところであります。

この図面に基づいて早く寺の敷地を確定し、次に進みたいと思います。

何しろ寺の敷地内にあるべきでない川が流れている訳ですから、敷地の確定は難しい問題で、今までも事業を行う度に引っかかってきたわけです。先代からの課題を現任職の時に解決しておかないと、次の代が又苦勞することになるだけであります。時代もあるでしょうがどうやら現任職は土地整理の仕事が大きな仕事の

ように思えてなりません。そんな訳で納骨堂建設が大幅に遅れています。が、確実に進めておりますので今しばらくお待ち頂きます様お願い致します。

祝 長寿 百廿歳

住職の母親である、直榮法尼が、十月十八日で満百歳を迎えました。二十六日には、加藤市長様もお祝いに駆けつけてくれました。皆さんも長寿の寺にあやかっして下さい。

新年厄除け薬師護摩供養

一月八日午後一時より修行
申し込み受付中

恒例の新年厄除け護摩を一月八日

記

午後一時より修行致します。護摩を
焚く修行は、近年いろいろな所でさ
れていますが、正統に受け継がれて

期日・・・一月八日、午後一時より
祈祷料・・・三千元

いるのは密教寺院であります。福田

祈祷内容・・・厄難消除(厄よけ)

寺は、京都・東寺を本山とする真言

身体健全、病魔退散、家内安全、
交通安全、商売繁盛、業運繁栄、
学業成就、合格祈願、安産祈願、

密教寺院としての歴史を刻んで参り
ました。

子授け祈願、その他
申し込み・・・一月七日まで、電話可
電話 0465(36)2755
FAX 0465(37)6688

檀家以外の方でも勿論結構ですの
で、皆様お揃いで新年の護摩供養に
お参り下さい。

男性

平成二十二年厄年

前厄 昭和四十五年生まれ
本厄 昭和四十四年生まれ
後厄 昭和四十三年生まれ

女性

前厄 昭和五十四年生まれ
本厄 昭和五十三年生まれ
後厄 昭和五十二年生まれ

二元旦祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉
を開けておきます。

午前0時より一時まで、住職に
より新年の御祈祷が修法されま
す。ご自由に参拝ください。

昔暮れのおお参り

古い護摩札やお守りなどは、
暮れのお参りの時に、本堂入り
口に用意された納め場所に納め
て下さい。特に大きなものや、
燃えないものは、寺の者に連絡
してください。

年回のお告知りせ

来年度の年忌(年回)法要の
張り紙を本堂に掲げておきます
ので暮れのお参りのときに自分
の家の年忌を確認して下さい。
年忌に相当している場合、法要
の日取りを早めに連絡して下さい。